

あなたと議会をむすぶ

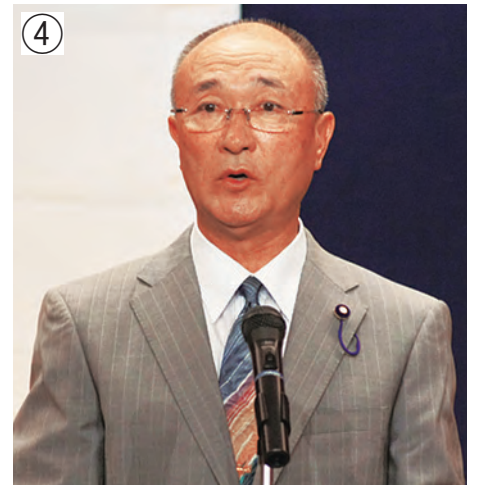
議会広報

平成26年8月  
第139号

# あじがさわ

発行…青森県鰺ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰺ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



真夏の成人式 平成26年度鰺ヶ沢町成人式が8月12日、舞戸公民館で開かれ、新成人75人が出席しました。

写真① 恩師のスピーチに笑みがこぼれる新成人 写真② 凛々しい表情で祝辞を聞く男性陣  
写真③ 新成人を代表して誓いの言葉を述べる今仁哉さん 写真④ 祝辞を述べる新保議長

6月議会  
定例会号

2 6月定例会のあらまし

3 臨時議会・議員研修会

4～7 一般質問（4議員）

8 まちの元気を目指して

# 平成26年 第2回定例会



第2回定例会開会日の一コマ

## 平成26年 6月定例会

6月6日～6月12日

平成二十六年第二回定例会（六月定例会）が六月六日から六月十二日までの日程で開かれました。六日の開会日には、ロータリ除雪車の購入などの議案七件のほか報告六件、意見書案一件が上程されました。

十日には一般質問が行われ、四人の議員が諸問題を取り上げ、町側に答弁を求めました（一般質問の内容は、4ページから7ページに掲載しています）。

また、最終日には、道路災害復旧工事に係る工事請負契約一件が追加提案されましたが、審議の結果、上程されたすべての議案は、全会一致で可決、承認されました。

### 二丁目高校線道路災害復旧工事 工期は本年十二月二十五日まで



昨年の10月16日、大雨が原因で崩落した西海小学校下斜面は、今年2月11日再び崩落。現在、復旧工事が進められています

六月定例会に上程された主な議案は次のとおりです。

◎財産の取得  
新たにロータリ除雪車一台を取得するもの。除雪車の価格は3628万円。

◎損害賠償の額の決定及び和解  
今年二月十一日、町商工会館裏手、町道沿いの工事が崩れ、同会館と棟続きの倉庫一棟が損壊。また、倉庫に保管している備品等が被害を受けたことでの損害の賠償金として町商工会に損害額454万円を支払い和解するもの。

賠償額454万円のうち354万円は総合賠償補償保険、残り100万円は町単独費で補てん。

◎平成二十六年度町一般会計補正予算  
当初予算額に歳入、歳出それぞれ9873万円を増額し、補正後の予算を67億1873万円としたもの。

補正予算（増額）による主な事業は次のとおり。

・総合行政システム管理費  
1821万円（社会保障・税番号制度対応システム改修委託料）  
・放課後ルーム事業費  
221万円（旧幼稚園屋根修繕事業）  
・児童福祉総務費  
91万円（なるさわ保育園フェンス改修事業）  
・鱈ヶ沢保育所費

57万円（屋根改修事業）  
◎平成二十五年年度予算繰越明許費（報告）  
二十六年度に繰越した主な事業は次のとおり。  
・農業用施設災害復旧事業費  
3970万円  
・農地災害復旧事業費  
4375万円  
・道路等災害復旧事業費  
2億7061万円  
・下水道施設災害復旧事業費  
1億2630万円  
※繰越明許費とは  
その年度内に支出を終わらない見込みがある経費を翌年度に繰り越して使用することができるところに、議会の議決を経て定めること。

◎工事請負契約の締結（追加提出議案）  
・二丁目高校線道路災害復旧工事  
5162万円  
※この復旧工事額のうち約65パーセントは、道路災害復旧費補助金（国庫補助）が充てられます。



# 補助事業を活用し

# 太陽光発電装置設置

平成26年  
第2回臨時会  
7月2日

平成二十六年第二回臨時会が七月二日に開かれました。

臨時会には、議案一件（太陽光発電装置設置工事の工事請負契約）が上程され、審議の結果、原案どおり全会一致で可決されました。

この事業は、避難施設の機能維持として、停電



舞戸小学校は、屋上に太陽光パネルが設置されます

時における照明、テレビ、パソコン、携帯電話充電等の電源確保のため、西海小学校、舞戸小学校、室内温水プールの三か所に太陽光パネル及び蓄電池を設置するものです。

工事請負契約金額は、9061万2000円で、工期は平成二十七年三月三十一日となっています。なお、この事業費は、再生可能エネルギー等導入推進事業費補助金を活用しています。

## 町村議会議員研修会 大森氏が道州制について講演

県町村議会議長会主催による県下町村議会議員研修会が、七月十日、青森市民ホールで開催され、議員九名が参加しました。この研修会は、毎年開催されているもので、今年度は、東京大学名誉教授

の大森彌（わたる）氏が「道州制について」と題して講演を行いました。

## 全国町村議会議長会 道州制導入に断固反対 する決議案を採択

全国町村議会議長会では、

①道州制が導入された場合、ほとんどの町村は、事実上の強制合併を余儀

### 道州制11区割り案



国家、あるいは首都東京が存在できるのは、地方があるからこそという持論を持ち、道州制の導入に対し反対の立場をとる大森氏は、道州制案の特色の一つは、市町村合併を前提条件としていることとし、道州制は、自治体としての存続を図ってきた誇り高い町村の存亡にかかる改革であると話していました。

参加した議員は、大森氏の講演に熱心に耳を傾けていました。

なくされ、結局は大都市やインフラ整備が整った中心地域にヒト・モノ・カネが一極集中し、地域間の格差はますます拡大するおそれ極めて強い。

②効率性や経済性のみを優先し、一方的に再編された「基礎自治体」や

道州では、現在の市町村や都道府県に比べ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退する。などの理由から道州制の導入に反対しています。

昨年十一月に行われた第五十七回町村議会議長会では、

全国大会では、「道州制の導入に断固反対する特別決議」を採択しています。

鯉ヶ沢町議会も平成二十五年九月定例会で「道州制導入に断固反対する意見書」を全会一致で可決しています。



鶴田 悦子議員

# 空き家条例制定についての見解は 〈答 国の方針を見極めながら検討〉

## 空き家の現況はど うなっているか

問・平成二十二年十二月  
議会で舞戸を除いて30  
8軒の空き家があるとい  
う答弁でしたが、それ以  
降、空き家もつと増え  
ているものと思います。

町内会長との協議の結  
果と空き家に関する条例  
制定について、町当局で  
はどのような見解である  
かお聞きします。

答弁・総務課長  
先に、町内会長及び消  
防団等の協力を得まして、  
現在把握している空き家  
の件数を報告します。

鱈ヶ沢地区146軒、  
舞戸地区72軒、赤石地区  
87軒、鳴沢地区60軒、中  
村地区62軒、合計427  
軒の空き家があります。

町では、その情報をも  
とに空き家マップの作成

を行っており、現在、所  
有地確認の業務を進めて  
いますが、今年度は空き  
家の一部について危険度  
判定を実施する予定と  
なっています。

次に空き家条例の制定  
について説明します。

平成二十五年末現在  
で空き家条例を制定して  
いる市町村は、県内で十  
市町ほどありますが、そ  
の内容は、あくまでも所  
有者の責任において管理  
しなければならぬ、そ  
れで、必要に応じて調査

を行い、危険な恐れがあ  
るときは所有者に勧告、  
助言、そして、最後の手  
段として行政代執行がで  
きると、いう順序だてに  
なっています。

しかし、国の基本的な  
方針、指針がない現在、  
問題点もあります。

まず一点目として、建  
物を解体すると建物の減

免措置がなくなることで、  
固定資産税の額が三倍か  
ら六倍まで膨らむという  
ことになります。

また、仮に最終的に行  
政代執行を実施し、その  
費用を所有者に請求した  
としても、所有者が支払  
うかどうかなどの問題も  
あります。

それらの問題を解消す  
るため、現在、国におい  
て空き家対策に関する特  
別措置法案を制定する予  
定となっています。その  
法案が制定されると、国  
の後ろ盾もはつきりと決  
まりますので、現在、国  
の方針、対策をはっきり  
と確認、見極めながら引  
き続き条例制定に向けて  
検討している段階です。

大和田、パル間で  
百円バスの運行は

問・大型店舗ができてか  
ら隣近所の小売店が軒並

み閉店に追いやられ、高  
齢者家庭が多い昨今では、  
毎日の食料購入に難儀を  
来している状態にありま  
す。

これは、鱈ヶ沢だけで  
はなく、まさに全国的な  
傾向とも言える問題であ  
りますが、全国的な問題  
だからと言って傍観して  
いるわけにはいかない切  
実な問題です。

五所川原市では、イオ  
ン行きのバスを百円そこ  
そこで運行していますが、  
鱈ヶ沢町でも大和田、パ  
ル間だけでも百円程度で  
乗れる車の運行はできな  
いものかお聞きします。

答弁・政策推進課長

百円バスは、当然経費  
的には赤字となりますの  
で、その赤字経費は、町  
が負担するというのが基  
本的なスタンスになりま  
す。

調べてみたところ駅と

大和田の間を走る路線バ  
スは、七、八本、往復通  
つています。料金は、駅  
と大和田間が片道二百八  
十円。ちなみにバスの初  
乗り運賃、バスに乗って、  
すぐ隣のバス停でおりて  
も最低百七十円かかると  
いうことでした。

百円バスを運行できな  
いかという一つのアイデ  
アですが、当然、高齢者  
が増えてきています。買  
い物、通院、大変不便な  
状況だということは十分  
認識していますので、地  
域住民とか交通機関とか  
業者とか入りました公共  
交通会議の協議組織とい  
うものを作り、その中で  
十分検討して、早いうち  
に何かしらの打開策を打  
ち出していききたいと思っ  
ています。

問・専用バスは、今のと  
ころもう少しかかるとい  
うことですか。

答弁・政策推進課長

現在は路線バスしかあ  
りませんので、それだけ  
では不十分であろうと、  
限界に来ているというこ

とを考えると、個別にバ  
スを走らせるような手法  
もこれから検討してい  
なければならぬ。その  
中で百円になるのか、二  
百円になるものかちよっ  
とわかりませんが、そう  
いうバスの運行も検討の  
中に入ってくるであろう  
と思います。

意見・ここ鱈ヶ沢町は、  
青森県下でも高齢者率は  
非常に高くなっています。  
高齢者に対する何か温  
かい援助をしていただ  
ければと思います。元氣な  
まちづくりを町の経営方  
針の一本の柱として考え  
ている鱈ヶ沢町です。ど  
の人も元氣になるため  
は、そういうことを継続  
して、みんなのためにな  
るようがんばっていただ  
ければと思います。

※鶴田議員はこのほかに  
も次のような質問をして  
います。

◎鱈ヶ沢町が一般に汚  
いと言われているが、町内  
会と協議して対応できな  
いか。





一戸千代久議員

### 地域公共交通会議の進行状況は

圖・地域公共交通会議について質問します。

このことについては、二十四年第三回定例議会において当町の公共交通をいかに存続させていくかで質問しています。その中で、地域公共交通会議を作ることに必要を述べ、早期に結成することをお願いしました。翌年二十五年度施政方針においては、地域公共交通会議を中心に地域交通の確保に努めるとし、さらに、今年度の施政方針においても地域公共交通会議のもとに必要最低限の地域交通の確保をすると掲げています。

また、地域公共交通会議の予算措置もしていますが、その方針、方向性が全然伝わってきません。地域公共交通会議の進行状況と行政の方針はどのようになっていますか。答弁・政策推進課長

地域公共交通会議は、事務の推進体制などの理由により結果的にはまだ立ち上がっていない状況にあります。今後の方針として公共交通の協議組織というものを速やかに立ち上げたかと考えています。当然、地域内の課題など情報収集に努め、翌年度にはその課題、方針等に基づいて実施に向けた基本計画を作り上げたいと思っています。

早ければ、二十八年度には新しいスタイルのものをスタートさせる、これが最速のスケジュールと考えているところです。圖・地域公共交通会議の必要性は、行政のほうで

も認識しているようすが、もっと利便性の高い公共交通を作るために具体的な考えを持っていますか。答弁・政策推進課長

あとはスクールバスをどううまく生かしていくかということも検討課題になっています。意見・一気にいかないでしょうけれども、スピードを速めて、民間の意見を、町民の方の意見をぜひ多く取り入れるような地域公共交通会議にしていただきたいと思っています。

## 公共交通利用者の利便性を高める施策を 〈答〉地域公共交通会議を作り対応

圖・今、路線バス、スクールバスの一体化を図り、経費の削減、利用者の利便性を高めようとする自治体が出てきました。

三戸町は、町内であれば、大人一人一回百円、中学生以下は無料としています。

鰯ヶ沢町の場合は、民間バス補助金とスクールバスの委託費を合わせると約一億三千万円の経費を投じています。それらを合体するようになれば、もっと少ない金額で、もっと地域のバス利用者の利便性が高められるのではないかと思います。

地域公共交通会議を作る以上は、町民も恩恵があるのだと、また町の持ち出しも少なくなるのだというのをぜひ検討していただきたいのです。そのことについて答弁をお願いします。

このため、いま一度全体的に見直しをし、住民の利便性の向上に向けて、町が支援するのであれば、それに見合った以上の効果が発現できるように、この地域公共交通の会議を立ち上げて実施に向けてがんばっていききたいと思います。



写真は、鰯ヶ沢町のスクールバス。県内には住民混乗のスクールバス運行をしている町もあります。



東條 一彦議員

### 小規模事業者に情報提供を

問・我が国では、近年、

デフレ、円高、グローバル競争などが継続する中、中小企業、とりわけ小規模事業者は厳しい経済環境に直面しており、企業数は減少しています。

鱒ヶ沢町の商工業者の九パーセント以上が中小企業、小規模事業者であり、当町も決して例外ではありません。

そんな中、小規模企業振興基本法という一度小規模企業へ政策の光を当てようとする法律が今国会で成立される動きがあります。

地域の活力向上と小規模事業者の活性化は表裏一体であることから、今まで以上に商工会と連携し、国の施策を十分理解

## 大学や団体と連携し地域活性化事業を 〈答〉 今後も助言やアイデアを生かし事業を展開〉

し、活用して、小規模事業者に対し、情報提供を

することが必要と考えますが、町側の考えをお聞

かせください。

答弁・観光商工課長

中小企業庁などの支援事業については、広報あじがさわや中小企業庁が作成したパンフレットやチラシなどで情報を提供しています。

また、平成二十五年度からは、中小企業、小規模事業者を対象とした支援ポータルサイトのほか、町商工会が開催している

町商工会が開催している会議などを通じて、商工会の会員の方には手厚く情報提供がされています。商工会会員以外の方々には、商工会ルートを通じて情報提供というの

現状では難しい状況にあります。町としては、広報あじがさわ、県が発行している青森県民だより、支援ポータルサイトを通じて情報提供をして

り、支援ポータルサイト

を通して情報提供をしています。

意見・情報提供はいろいろあるのですが、当町の

小規模事業者の方は高齢の方も多く、ネットを通

じた情報を得るという作業は難しいと思います。これからこの法律が施行されると、当然、国、都道府県、市町村の役割や位置づけが明確にされ、それが求められると思いますので、ぜひとも早い段階で、非商工会員の事業者にも情報が伝わるような仕組みを作っていた

だきたいと思えます。

### 新しい意見を取り入れてモデル事業を

問・昨年、域学連携事業

で東洋大学ライフデザイン学部の学生が町内の休廃施設の活用方法を調査するため当町に滞在しま

した。

彼らは単に休廃施設をどう使っただけでなく、

豊かな暮らしを目標に総合的に捉え、人間を中心に建築から住宅、地域プロダクトまでのデザイン

を総合的に考えています。

このように大学や団体と連携し、新しい意見を取り入れて、地域活性化まちづくりのモデル事業としてやっていってはい

かがでしょうか。町側の意見をお伺いします。

答弁・政策推進課長

昨年は、域学連携事業として八大学から七十四人の大学生を鱒ヶ沢町に招き、いろいろな角度から町の魅力を引き出してもらうなど様々な提言をいただきました。

このようなつながりというのは、非常に大事だと思えますので、今年度も引き続き連携を進めて



町の状況を聞く弘前大学地域社会研究科の大学院生



白八幡宮で学習する江戸川大学の学生

いくことにしていますが、特に今年度は、町が抱えている課題や具体的なテーマを大学のほうに投げかけて、受けていただいているというスタイルに移行しています。

また、休廃施設の有効活用に限らず、まちづくり関係などいろいろな連携をしてきていますので、今後も県内、そして県外、中央の多くの大学と連携、協力を深め、そこらいただいた助言やアイデアをまちづくりに生かしていきたいと考えています。

問・大学のほうにどんなこちらのほうからも問題提起をして、問題の解決に向けていってもらいたいと思えますが、この問題は一つの課で解決するのは難しいことだと思いますので、課を越えてプロジェクトチームのようなものを作って、問題解決に向け取り組んでいくという考えはないものでしょうか。

答弁・政策推進課長

課題によっては、当然、関係する課と連携することも今までもしています。特に高度なものについては、またプロジェクトチームのようなものを想定しながら進めていく方法もあろうかと思えますので、そこは柔軟に推進体制のほうも考えていきたいと思えます。





長谷川統一議員

## 職員の議会傍聴を行う考えはあるか 〈答 職員研修の一環として具体的に検討〉

### 学校に地域ごとの縦 割り班の活動を

園・学校の統廃合が行われたことにより、数多くのメリットが生まれた反面、地域間でのつながりが希薄化してきている等のデメリットも生じていると思います。

学校内に地域ごと、もしくは旧学区ごとの縦割り班での活動を取り入れることにより、その活動の中で地域とのふれあいを持つことができるのではないかと考えます。

教育行政の施策としてこのようなことを取り入れる考えはないものかお答えください。

答弁・教育課長

当町でも小学校、中学校において学年を越えて班を作る縦割り班の活動を行っています。

子供の減少により、地域、近所での遊び仲間が少なくなっています。

縦割り班は、子供たちの社会性を育むため、学年の違う子供たちの交流を積極的に行っていきたいということ、学校でも取り入れています。

ご指摘の地域ごとの縦割り班は、各学校に確認したところ、人数や男女比、兄弟の片寄りなどの問題も考えられるとの意見もあり、取り入れることはまだ考えていないとのことでした。

園・学校の運営に関しては、学校長の権限により決まっています。当町にある二つの小学校のうち片方の校長がそういう考えはないと

えない学校が出てくると思います。

やはり、これは教育行政の施策として学校側に働きかけることが必要だと思いますが、いかがでしょうか。

答弁・教育長

昔は、地域縦割り班的なものがあったということとは伺っています。学校長の方針、保護者の声、それと地域との絡み、それらをつないでいくには、PTAの皆さんの役割も大切になってきます。

今直ちに教育委員会の方針として出す前に、時間がかかるかもしれませんが、皆さんの意見を聞くということが大切だと思います。

また、学校教育と社会教育の融合と言いますか、たとえば公民館も併せた教育も考えていく。このことが、学校に地域性が欠けているというようにすることに對して一つのヒントにもなるかと思えます。縦割り班については、過去の歴史を学び、校長とももう少し議論をするということ、時間をいただければと思います。

### 職員研修の一環として 議会傍聴は可能か

園・職員の議会傍聴についてお聞きいたします。最近、開かれた議会のために議会基本条例をつくる議会が増えてきています。

住民に開かれた議会とするためには、議会の夜間開催や休日開催も議会として検討していかねければならないと思えます。そこで、今後議会が夜間並びに休日開催した折には、職員研修の一環として職員の議会傍聴は

きないものかと考えます。

議会でのような議論が交わされているのか、担当課以外のことにしても理解が深まると思えます。さらに議会内に注目が集まることにより議会の活性化につながると思います。

町では、どのような考えがあるのか、そのような考えをお持ちなのかお答え願います。

答弁・副町長

町としても職員の研修に様々な取り組みがあります。その中で今回、議会の傍聴というお話ですが、その必要性は、大変理解できます。

やはり、職員についても自分が担当している事務事業が議会の質問のテーマとして上がった場合、どういうやりとりになるのかという点、あるいは町政全般のことについても傍聴という形で参加できれば、職員研修としては、大変有意義なものであると私は理解して

います。

夜間あるいは休日の議会開催については、当然日程を決めるのは議会ですが、夜間、休日となれば、行政との若干の調整は必要になると思えます。全国的に見ても、夜間、休日以外、平常の場合の議会開催でも職員の研修を実施しているところも

あります。ですから、今後具体的に町としても検討していきたいと思っています。

意見・傍聴者が多くなれば、理事者側も議会側も緊張感のある議会になるということも考えられます。また、それが活性化につながることもなると思います。

我々議会としてもこのことに関しては、検討していきたいと思いたすので、ご協力をお願いしたいと思えます。

※長谷川議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◎各地区の現状を把握する体制について

# まちの元気を 目指して

鱈ヶ沢町交通安全母の会  
会長 重田 一子さん

町にいる多くの人に呼びかけながら  
作品を発表できる場の創出が夢



プロフィール

以前は、パッチワークの会「カントリーフレンド」代表として日本海拠点館で展示会を行うなど様々な活動を展開。現在、鱈ヶ沢町交通安全母の会会長。また、町地域包括支援センターの依頼を受けて「生きがい趣味の会」の講師を務める。当町舞戸町在住。

特集「まちの元気を目指して」は、今回が二回目。町交通安全母の会会長、また、生きがい趣味の会の講師を務められている重田一子さんにお話を伺いました。聞き手は、長谷川統一広報委員です。

Q 鱈ヶ沢町交通安全母の会の現状を教えてくださいませんか。

A 現在、会員は二十一名います。以前は、町からの活動費の助成がかなり多かったのですが、現在は、助成がないので、会員から

一人五百円の会費をいただいで活動しています。ボランティア活動です

ので、自己負担をしながらやるというのは矛盾している話ですが、交通安全の活動というのは、いつの時代でも必要だと思

いますから続けていかなくてはいけないと思っています。

Q 具体的な活動は。

A チラシを配布しながら交通安全の呼びかけをする街頭活動や、各保育所の交通安全教室のお手伝いなどを行っています。

また、県の大会や郡のブロック研修会などに参加しています。町民総決起大会など町の行事にも



街頭活動をする交通安全母の会の皆さん

協力しています。

Q 重田さんのような民間の方々の地道な活動が、子供たちやお年寄りを交通事故から守ることになる。これは、町の財産にもなっています。

A ありがとうございます。町民総決起大会のときに町長も話をしていましたが、七月九日で鱈ヶ沢町内の死亡事故ゼロ1000日を達成しました。ゼロが続くように活動を続けたいと思います。

会について、お話をお聞かせください。  
A 突然、地域包括支援センターのほうから声をかけていただきましたが、悩みましたが、みんな楽しんでできればいいかなとお引き受けしました。  
Q 活動は。  
A 中央公民館の講習室で月二回、おがましいのですが、パッチワークの指導をしています。六十代から間もなく八十歳になられるような様々の年代の方がいます。みなさん、仲良く、和気あいあいと雑談しながら楽しくやっています。教えているほうも楽しいし、声をかけてもらって良かったなと思っています。

Q さて、夢というか、今後の活動の中で考えていることはありますか。  
A 私の取柄はパッチワークしかないし、近い将来を見据えて、パッチワークなどの作品を発表できるような場を作りたいと思っています。

趣味を生かして、パッチワークなどをやっている人は町の中にいっぱいいます。そういう人たちに呼びかけながら、難しいかもしれませんが、廃校を活用して、展示会まで堅苦しくなく、見せ合いつつするような場を作りたいと思っています。若い年代に限らず、多くの方の普段の生活の励みにもなるのではないのでしょうか。ぜひやってみたいと思います。

Q 最後にまちを元気にするキーワードは。  
A 一介の主婦が、家事以外に様々な活動をするとなると、たくさん弊害が生じます。活動を実行するには、家族の理解と協力が不可欠ですので、私がこうしてできる状況にあることを家族に感謝しています。キーワードになるかどうかはわかりませんが、家族が穏やかに、そして仲良く暮らすこと。それがすべてにつながると思っています。